

文書番号 : ○○○○○○○○○○

改訂番号 : 0RG

○○○○○式○○○○○型無人航空機

仕様書

※これは仕様書の一例です。各型式の設計・特徴に見合った内容を記載して下さい。

※ 以下の様式例においては、設計書、設計図面等に記載されているものについては、該当の文書番号及び項目番号のみを記載することを念頭に作成されています。

XXXX 株式会社

改訂履歴

改訂番号	改訂日	改訂頁	改訂理由
ORG	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	—	—

1. 申請に係る無人航空機の型式

〇〇〇〇〇式〇〇〇〇型

2. プロペラ、モーター及びElectric Speed Controllerの名称及び数

部品表〇〇〇〇〇（文書番号）の〇〇項に示すとおり。

3. 申請に係る無人航空機の製造者の氏名及び住所（法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地）

製造者の氏名又は名称：無人航空機飛行規程〇〇〇〇〇（文書番号）〇〇項に示すとおり。

製造者の住所：〇〇〇〇

4. 「無人航空機の型式認証等における安全基準及び均一性基準に対する検査要領」（令和4年9月7日 国空機第456号）の改訂年月日及び文書番号

- 改訂年月日：令和〇年〇月〇日
- 文書番号：国空機第〇〇〇号

5. 申請に係る型式の無人航空機の主要諸元

無人航空機飛行規程〇〇〇〇〇（文書番号）〇〇項に示すとおり。

6. 最大離陸重量、重心許容範囲等の重量並びに重量分布及び重心位置に関する説明及び必要な図表

- 最大離陸重量：無人航空機飛行規程〇〇〇〇〇（文書番号）〇〇項に示すとおり。
- 重心許容範囲等の重量並びに重量分布及び重心位置に関する説明及び必要な図表：無人航空機飛行規程〇〇〇〇〇（文書番号）〇〇項に示すとおり。

7. 運用限界（速度、風速、高度、降雨量、温度等に関する事項）

無人航空機飛行規程〇〇〇〇〇（文書番号）〇〇項に示すとおり。

8. 出力又は推力、回転翼タイプの無人航空機にあっては回転翼回転速度、発動機（発動発電機を除く。）が搭載された無人航空機にあっては有効に運転できる大気温度等の推進系統の運転に関する諸元

- 回転翼回転速度：〇〇〇〇rpm
- 有効に運転できる大気温度等の推進系統の運転に関する諸元：非該当

9. 発動機（発動発電機を含む。）が搭載された無人航空機にあっては、燃料等級、滑油規格

- 燃料等級：非該当
- 滑油規格：非該当

10. 発動機（発動発電機を含む。）が搭載された無人航空機にあつては、燃料、滑油等の総容量、使用不能量

- 燃料 : 非該当
- 滑油等の総容量 : 非該当
- 使用不能量 : 非該当

11. 任意装備品の名称、数、使用方法及びそれらを装備した場合の各種限界

任意装備品の名称、数、使用方法及びそれらを装備した場合の各種限界を、表〇に示す。

表〇 任意装備品の名称、数、使用方法及びそれらを装備した場合の各種限界

任意装備品の名称	数量	使用方法	装備した場合の各種限界
測量用カメラ (型番まで指定あれば追記)	1	無人航空機飛行規程〇〇〇〇 (文書番号)の〇〇項に示すとおり。	無人航空機飛行規程〇〇〇〇 (文書番号)の〇〇項に示すとおり。
〇〇〇	〇	〇〇〇	〇〇〇

12. 装備品及び部品の種類（標準装備品及び任意装備品についての名称及び規格若しくは仕様）

部品表〇〇〇〇〇（文書番号）の〇〇項に示すとおり。

13. 該当製造番号

該当製造番号は、ドローン情報基盤システム（DIPS）に登録したとおり。